

# 令和5年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人大浦学園 門司こぼと幼稚園

## 1. 本園の教育目標

健康でたくましい身体と豊かな感性と知性を育む

## 2. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

対面でのコミュニケーションが活発にできる環境と機会の設定。小規模な参加型行事園外保育の充実。季節が感じられ、遊びこめるような環境構成。連続性のある保育の実践。  
実践的な保育技術研修。対面研修へ参加。園内研修の充実。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

教育方針・園内組織 B 健康・安全 A 言葉・表現 B  
子どもとの関わり A 学級運営・環境 B 研修 C  
家庭との連携 B  
総合評価 B

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価内容	評価	評価の理由や取り組み内容
保育内容と計画	A	一斉保育を減らし、個人のコミュニケーションが活発に行われる機会を多く設定。園外保育を通じた、社会生活との関りへのアプローチが充実できている。
学級運営・環境構成	B	幼児が主体的に活動できる環境設定について一定の評価。活動の連続性については、やや円滑に進まない状態もあった。季節の遊びを中心に、学びへ向かう姿勢への支援が必要。
研修	B	対面研修が再開され、多くの研修に参加。園内研修、保育実践研修も充実。専門性を高めるため、課題である分野について研究・考察を実施、職員間で共有する事で全体的な向上が見られた。自己課題への取り組み、研修については改善が必要。

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

## 4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価	理由
B	自己評価については、概ね評価が高いが、一部改善されていない分野がある。幼児の主体性を重視した保育の充実が図れたが、学びの連続性について課題。行事の実施方法を観覧形式から参加型へ転換を実施したが、内容や方法について改善の余地が多くある。研修については、大きく改善したが、更なる充実が必要。

## 5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
言葉・表現	一斉活動ではなく、幼児が心情や経験をいつでも自由に表現できる環境を構成。 数や文字への興味関心が高まり、取り組めるような遊びやうたへの取り組み。
保育計画・実践	計画に基づいて保育を行う事を前提とした上で、子ども達の状況や心情を適切に捉え、臨機応変に活動を再構成する。子ども達の姿を適切に捉え、個々の発達を考慮した計画の立案・見直し。
研修・資質向上	園内研修の充実。子ども達の実際の姿から、より主体的な活動や学びに繋がる為の保育を考察し、職員間で共有を徹底する。模範となるような園の保育を視察。
家庭との連携	園だより、クラスだよりを通して、園での様子を報告すると共に、連絡ノートを活用し、家庭での状況を適切に共有・考察する。
安全管理	園内の安全確保。園外保育での下見、利用施設でのルールやマナーを適切に伝え、学ぶ。

## 6. 学校関係者評価委員会の評価

いつも、より保育をできるよう、常に努力して下さってありがとうございます。  
保護者ともいつも対話して下さって、信頼関係を築いてくださいました。  
安心してお任せする事ができました。

委員会実施日 令和5年3月21日  
学校関係者評価委員  
  
学校関係者評価委員  
  
学校関係者評価委員